



がん検診の詳細な内容はこちら



胃がん検診

対象	内容	費用
40歳以上	問診 胃のレントゲン撮影	500円 (※)

※取扱医療機関1,500円

検診のながれ 年1回

1. 発泡剤（顆粒）を飲む

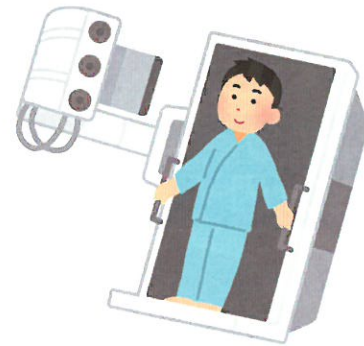
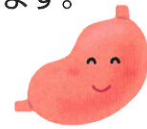
口の奥に発泡剤を入れて渡される水を飲みます。発泡剤で胃を膨らませます。ここからゲップは我慢。

2. バリウム（造影剤）を飲む

一気に飲むと器官に入ったりするので慌てないで飲みます。

3. 検査台で姿勢を変えてレントゲン撮影

技師の指示通りに身体を動かして胃の内部にバリウムを行きわたらせてレントゲン撮影します。



胃がんってどんな病気？

- 日本人に多く、40歳頃から増えてきます。
- 進行の程度に関わらず症状が全くない場合もあります。逆に、早期から胃痛、胸焼け、黒い便のような症状がみられることもあります。これらの症状は、胃炎や胃潰瘍でも見られる症状です。

胃がんのリスクを高める要因

- 喫煙や塩分摂取は胃がんリスクを高めることが分かっています。禁煙・減塩を心がけましょう。

肺がん検診

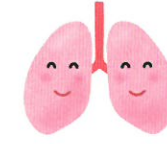
対象	内容	費用
40歳以上	問診 胸のレントゲン検査 (喀痰検査※)	無料

※喀痰検査は400円

検診のながれ 年1回

1. 胸のレントゲン検査

技師の指示に従い、レントゲン撮影を行います。息を大きく吸い込むことで肺を膨らませ、肺の状態をよりはっきり写し出すことができます。



2. 喀痰検査（必要な方のみ）

ハイリスク者（50歳以上で1日の喫煙本数×喫煙年数が600以上の方）を対象に、痰（たん）にがん細胞が出ていないかを調べる「喀痰細胞診検査」を行います。

肺がんってどんな病気？

- 日本の肺がん死亡者数は増加を続けており、男女合計すると部位別がん死亡の第1位となっています。
- 初期は症状がほとんどなく、あっても、せき・たん・胸痛などで風邪や他の肺の病気と見分けることが困難なため検診による早期発見が重要です。症状がある人は検診を受けるよりもすぐに医療機関を受診しましょう。

肺がんのリスクを高める要因

- 喫煙が大きな影響を及ぼします。喫煙者の肺がんのリスクは、男性4.8倍・女性3.9倍とされています。



大腸がん検診

対象	内容	費用
40歳以上	問診 免疫便潜血検査 (2日法)	300円

検診のながれ 年1回

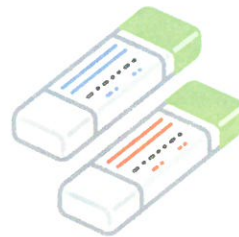
1. 採便検査（自宅で採便します） （採便容器は事前に届きます）

便の表面を採便用の棒でまんべんなくこすり、通常2日間分の便を採取します。食事制限の必要もない簡単な検査です。便に潜む血液の有無を調べる検査です。



2. 採便容器を提出

検診会場の受付で自宅で検査した2日分の採便容器を提出します。



大腸がんってどんな病気？

- 大腸がんにかかる方は年々増加しています。がん死亡率全体に占める割合は、男性で3位・女性1位となっています。
- 肛門に近い部分（直腸～S状結腸）に多く発生します。
- 初期は自覚症状がないことが多いです。便の表面に血液や粘液が付着したり（血便が出る）、便秘や下痢、腹痛など気になる症状がある場合は、すぐに医療機関を受診しましょう。
- 痔による出血と思い、早期発見の時期を失うことのないように注意が必要です。

大腸がんのリスクを高める要因

- 動物性脂肪の多い食生活、野菜や果物をあまり食べない、お酒をたくさん飲む、肥満、運動不足。
- 家族に大腸がんにかかった人がいる。
- 大腸にポリープと呼ばれる良性の腫瘍がある。

子宮頸がん検診

対象	内容	費用
20歳以上	問診 細胞診検査	400円

取扱医療機関のみ実施

検診のながれ 2年に1回・昨年受けていない人

子宮頸部の細胞診検査

陰鏡を膣内に挿入し、おりものの状態や炎症の有無など子宮頸部を目で確認します。子宮の入口表面の細胞を綿棒などでこすり、細胞を採取します。ほとんど痛みは無く、短時間で済みます。



子宮頸がんってどんな病気？

- 子宮の入り口にできるがんで、初期では無症状のことが多いですが、進行するにつれて不正出血などの症状がでます。
- 子宮頸がんの多くは、性行為によるヒトパピローマウイルス（HPV）の感染が原因とされています。一部の人で感染が持続し、がんを発症する危険があります。20歳代後半から30歳代が多く診断されています。

子宮頸がん予防について

- 子宮頸がん予防ワクチンは一部の型のHPV感染の予防ができるといわれていますが、治療薬ではなく、定期的な子宮頸がん検診の代わりになるものではありません。早期発見のために子宮頸がん検診を定期的に受診することが重要です。